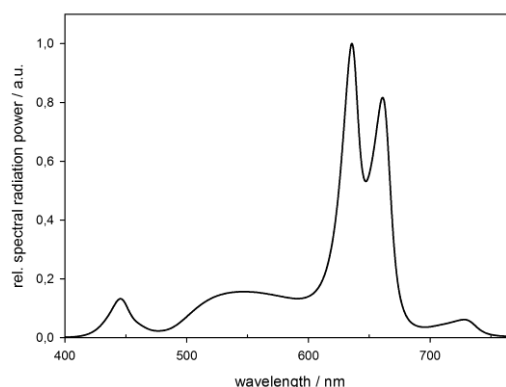


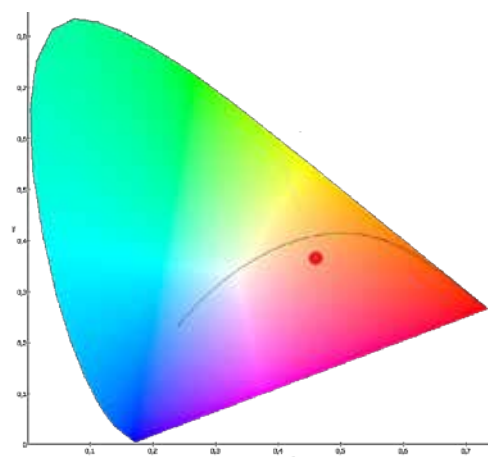
S4Wは、モジュールタイプで汎用性が高く、屋内の小規模な栽培スペースのための趣味の枠を超えたプロフェッショナルな植物工場用LED照明です。最高効率のLEDが、完璧な人工光栽培を可能にします。栽培スペース全体に均一に光を照射できるため、すべてのプラントが大きく早く育ち、安定した収穫となり栽培効率が高くなります。受動冷却システムと保護階級IP40で、メンテナンスフリーで高い安全性があります。S4Wは、さまざまな栽培スペースの条件にあわせて、柔軟に設置できるモジュールタイプです



S4Wの分光分布図



CIE 1931色空間における座標



電 気 的 特 性	値	単 位
標準的な消費電力 ¹	140	W
力率 ¹	0,98	
入力電圧範囲 ¹	90-305	V (AC: 47/63Hz)
最大流電力 ¹	0,75	A
最大出力電圧 ²	54	V (DC)
一定出力電流 ²	2,5	A
動作電圧 ³	54	V
動作電流 ³	620	mA

そ の 他 の 特 性	値	単 位
放射する波長(色)の幅	400 - 760	nm
PPF(光合成有効光子束=400-700nm) ⁴	385	μmol/s
モジュール単位の光子量子効率 ⁵	2,9	μmol/J
S4Wシステムの光子量子効率 ⁶	2,6	μmol/J
照射角度 (長方形全体の照射が、完全に均一)	90°	対称
x - 色座標 ⁷	0,47	暖かな温白色
y - 色座標 ⁷	0,38	
サイズ ²	228x68x39	mm
サイズ ³	980x75x45	mm
重量 ²	1100	g
重量 ³	2850	g
ACケーブル全長	0,23	m
DCケーブル全長	2,8	m
IP保護階級 ²	IP65	
IP保護階級 ³	IP40	
動作保証環境温度範囲	5 - 35	°C
動作保証相対湿度の限界 ⁸	90	%

注釈

- S4Wシステム全体
- LEDドライバ電源ユニット
- LEDモジュール
- LEDモジュールのPPF (光合成有効光子束: 400-700nm)
- LEDモジュールの1WあたりのPPF効率*
- S4Wシステムの1WあたりのPPF効率* 7 CIE1931色空間による
- 凍結なきこと

* PPF効率での植物育成灯の評価について

従来の植物育成灯の評価は、色温度のほかに、「発光効率」といわれる、1Wあたりに放射できる光束(ルーメン)の数値が重視されていました。単位はlm/Wです。例えば、標準的なHPSの発光効率は120 lm/W、MHで90 lm/W、高出力ではない白色LEDが50 lm/Wほどです。現在でもHPSは、発光効率が最も高いランプのうちのひとつです。一方植物は、葉に当たった光束の大きさではなく、吸収できた光子量子の数で光合成量が決まります。そのため現在では、植物育成灯の評価は、放出できる光子量子の数が重視されるようになりました。PPF効率は、1Wあたりに放出できる光子量子の数を表しています。従来、高効率と言われてきた園芸用LED製品のPPF効率は1.5 μmol/Jほどです。

S4Wの有効放射栽培面積は1灯につき：120x40 cmが目安です。

設置方法や、設置計画につきまして、より詳しくは： support@sanlight.info へご連絡ください。